

新冠町体育協会創立50周年記念事業 体育の日スポーツ大会実施

10月11日、12日の両日、新冠町体育協会創立50周年を記念して、体育の日スポーツ大会が開催され、多くの町民の方が参加して、汗を流しました。

今回、行なわれた種目は、憩いの広場パークゴルフ場と西泊津ヒルズパークパークゴルフ場を会場に行なわれたパークゴルフ大会、町民グラウンドで行なわれたソフトボール大会、町民スポーツセンターで行なわれたミニバレーボール大会の3種目。

どの大会も自治会や地域ごとにチーム編成されていますが、今大会は例年より参加チームが多く、



どの会場でも歓声と声援が飛び交い、大いに盛り上がりしました。また、新しくできたレ・コルドの森自治会の皆さんもソフトボール大会とミニバレーボール大会に参加し、スポーツを通して多くの町民の方と交流を図りました。

合併協議会設置請求 百三十八人分の署名簿を提出

10月15日、鷹嘴徳夫さんらが、新ひだか町との合併を目指した合併協議会設置を求める住民署名138人分を小竹町長に提出しました。

今回の請求は住民発議によるもので、この署名は協議会設置を求める住民発議に必要な有権者の五十分の一を上回るものでした。



今後は、この請求を受けて、新冠町議会、新ひだか町議会の双方で合併協議会設置の是非について議論されます。

秋晴れの日高路を満喫

優勝浪漫街道サイクリング開催

国道235・236号線の愛称が「優勝浪漫街道」と決まり、その愛称を広くPRするために優勝浪漫街道サイクリングが10月5日開催されました。

優勝浪漫街道沿いにある日高町門別競馬場から浦河町優勝ビレッジアエルまでを距離別に4つのコースに分けて行なわれ、道内外から212名が参加しました。

新冠町役場もBコースの出発地点とAコースの休憩地点となっていたため、小竹町長や近くに住む町民の方も激励に訪れ、参加者たちに声援を送っていました。



大会当日は、秋晴れで絶好のサイクリング日和となり、参加者の皆さんは眼下に広がる太平洋や日高山脈の雄大な景色、サラブレッドの牧場など、日高路ならではの景色を楽しみながら優勝浪漫街道を走破しました。

題

あれこれ

受賞おめでとうございます

北海道日高支庁長表彰

このたび、町田登さん、樫田マキさん、寺田トミエさん、安田としさんに社会福祉事業功労者表彰、樫田マキさんに身体障害者更生援護功労者表彰が贈られ、10月20日、役場庁舎で日高保健福祉事務所の斎藤泰一保健福祉部長より、表彰状と記念品が伝達されました。

社会福祉事業功労者表彰を受賞された4名の皆さんは、永年、民生委員・児童委員として地域の社会福祉に多大な貢献をされた功績が認められ、今回の受賞となりました。



また、身体障害者更生援護功労者を受賞された樫田さんは、民生委員だけではなく、新冠町身体障害者福祉協合理事及び副会長としても活躍され、協会の発展と身体障害者更生援護事業に多大な貢献をされた功績が認められ、今回の受賞となりました。

ま ち の 話

愛の鈴を届けて30年

新冠町商工会女性部

11月6日、新冠町商工会女性部の皆さんが来庁し、来年、小学校に入学する新一年生の交通安全を願って、女性部の皆さんが交通安全の祈願をした手作りの「愛の鈴」60個を辻本教育長に贈呈しました。

昭和53年から始まったこの活動も今年で30年目。これまで多くの子供たちがこの鈴をランドセルに付けて学校に通いました。



辻本教育長も「この30年の想いを受け止め、交通事故の減少に努力していきまします。」と謝辞を述べました。

いざという時に備えて防災避難訓練を実施



10月5日、地震発生時に津波の襲来が予想される海岸地域を対象に、新冠町防災避難訓練が実施され、町民1,029人が参加しました。

避難開始の防災無線が放送されると、住民の方はそれぞれの避難場所に駆けつけ、災害発生時の対応を確認し、防災への意識を高めました。

レジ袋利用で寄付金を△コップにいかつぷ店



△コップにいかつぷ店では、10月からエコ運動の一環としてレジ袋を使用した場合、1円以上の寄付金を呼びかけ、集まった寄付金を町社会福祉協議会（古館春男会長）に寄付しました。

古館会長は「社会福祉のために役立たせていただきます。」と謝辞を述べ、寄付金を受け取りました。